

授業科目	ハングル入門				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH10506J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	金 光子							
授業概要	今まで韓国語に触れたことのない履修生を対象に韓国語学習の基礎となる土台を作る。 ハングルとその発音、基本あいさつ、簡単な文構造の学習を通して次の段階へ進める基礎を作る。							
学生が達成すべき行動目標	1.ハングルが読めて、その発音が正確にできる。 2.発音規則を理解し正確な発音ができる。 3.基本あいさつができる。 4.基本的な文の構造を理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	10	0	0	20	20	100	その他は、授業貢献度。
知識・理解 (DP1-1)	30	10			10	10	60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20				10	10	40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ハングルを読んで正確な発音ができる。 基本挨拶を的確に使いこなせる。				ハングルを読むことができる。 挨拶ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	ガイダンス 韓国語とハングルの歴史などを説明。	講義	復習：該当部分の復習	60
2	基本母音 10の基本母音を覚える。	講義	復習：該当部分の復習	60
3	二重母音 11の二重母音を覚える。	講義	復習：該当部分の復習	60
4	子音(平音)を学習し、母音と子音の組み合わせを理解し、発音する。	講義	復習：該当部分の復習	60
5	子音(激音と濃音)を理解し、単語を使って発音練習する。	講義	復習：該当部分の復習	60
6	子音と母音を復習する。 日本語のハングル表記を学習する。	講義	復習：該当部分の復習	60
7	終声(パッチム)について学習する。	講義	復習：該当部分の復習	60
8	発音規則(1) 連音化について理解し、発音する。	講義	復習：該当部分の復習	60
9	発音規則(2) 有声音化、鼻音化について理解し、発音する。	講義	復習：該当部分の復習	60
10	ハムニダ体とヘヨ体について理解する。 挨拶表現を学習する。	講義	復習：該当部分の復習	60
11	名詞文(1) 「名詞+です」の平叙文を学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	60
12	名詞文(2) 「名詞+です」の疑問文を学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	60
13	助詞「～は、～が」を学習する。 自己紹介や家族の紹介表現を練習する。	講義	復習：該当部分の復習	60
14	好みについての表現を学習する。 尋ねて答えられるよう練習する。	講義	復習：該当部分の復習	60
15	まとめ 学習したハングルの読み方、文構造の復習。	講義	これまでの14回の講義をまとめておく。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	韓国語は”ハングル”という独自の文字から覚えなければならない言語です。他にも覚えることがたくさんあります。日ごろコツコツ頑張らないと身に付きません。			
テキスト	朴大王・李賛任著『韓国語入門』白帝社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	随時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テキストの CD を聞きながら繰り返して”声を出して”練習してください。			
達成度評価に関するコメント	試験、小テスト、提出物については授業中に説明します。 その他は授業貢献度で評価します。			